

広報

（堂）ごしよがわら

発行所
五所川原市役所
第567号
昭和59年5月15日
印刷 (有)西北印刷

市の人口 男 25,344人
女 27,186人

世帯数 14,613

(昭和59年4月1日現在) 住民基本台帳から



春風にいどむゲートボール

長い冬が去って、待ちに待った春がやっと来た。晴れ上った山に五月の風が光り川の水も温む。もうじつとしてはおれない。ゲートボールの面々は元気がつらつ賑やかである。

去年はもう桜吹雪だったなア。

今年も当分花見酒もおあずけだよ。

でも見ろよ、あの鯉のぼり元気がいいぞ。

うん。俺達も鯉のぼりに負けてはおれんぞ。

人生これからが花さ。

そうだよ。桜紅葉という言葉もあるぜ。

なに紅葉どころか二度咲きの桜だよ。

百花りよう乱これからだ。燃えるよな恋だつてまんざら夢じゃないさ。

おう、そうだとも、そうだとも。

ウワッハハハ……。

さあみんな、これからゲーム開始だ。

今日は去年の敵討ちだ。大いにほざけ。返り討ちになつてからじゃもう遅い。



春のクリーン作戦

市民総ぐるみで 側溝の泥あげ

みんなでき
れいな街を
と恒例のク
リン作戦が
四月二十二
日か
二十九日ま
で行われま
した。

差点である旧ロータリーを基
点に、敷島町五能線踏切か
ら栄町交差点までの二二キ
ロの間で側溝から上げた泥
の運搬作業を行いました。
この日の作業には、森田
市長をはじめ市衛生課、都
市建設課、五所川原土木事
務所、町内会等合せて六
十五名が参加し、ダンプや
シヨベルカーなど八台の車
両が出動しました。

作業に先立
って、森田市
長が、「きれいな街を実現す
るため、春の
クリーン作戦
運動がますま
す広がるよう
にがんばって
ほしい」と励
ました。
このあと一
行は、市長を
先頭に二班に
分かれ、車の
往来が激しい
国道の中で、
すでに町内で

五所川原剣道協会(会長
増田恒一)では四月五日、
剣道普及優良団体として、
「財団法人」全日本剣道道
場連盟、全日本剣道少年団
から表彰状の伝達を受けま
した。
同連盟では、剣道の普及
発展に功績のあった団体の
表彰を続けており、今年は
十余年にわたりキャンプや
運動会などで、親子のふれ
あいを続けている五所川原
剣道協会及び功績のあった
個人が受賞の対象になった
ものです。受賞者は次のと
おりです。
○五所川原剣道協会
○指導顧問 小野 順蔵
(本町) ○少年団員 成
田佳隆(五一中)

五所川原剣道協会 表彰受ける

あけておいた側溝の泥やゴ
ミを次々にダンプに積み上
げ、汗を流していました。



シートベルト 推進宣言

五所川原市では三月、県
下で先駆けて官公署職員シ
ートベルト着用促進協議会
(会長森田市長)を発足さ
せましたが、五月一日、シ
ートベルト着用宣言を行い
事故防止に努めることにし
ました。
この日、市長公室で行わ
れた宣言式では、職員代表
者が森田市長、地代所警察
署長に、無謀運転と飲酒運
転の絶滅を誓い、「シートベ
ルト着用の実践に努め、交
通事故のない明るい職場を
つくりまします」と宣言し、決
意をあらたにしました。

「少年の主張発表大会」 青少協会長奨励賞



この前の日曜日のこ
とです。
私は母と二人で町へ
買物に出ました。ふわ
っとした秋の陽ざしが、
町中いっぱい流れてい
ました。
私と同じように、母
子でつれだって歩いて
いる人たちがたくさん
目につきます。どのお
母さんもどの子どもた
ちも、みんなとても楽
しそうに歩いています。
私はふと、一組の母
子に目がとまりました。
幼稚園ぐらいの子ども
でしょうか。おかつぱ
頭に短かいスカートの
よくにあう、とてもか
わいい女の子です。若
いやさしそうなお母さ
んとしつかりと手をつ
なぎ、ゆつくりと私の
方に向って歩いてきま
した。だんだん私に近
づき、やがて私の目の
前まで来た時です。

日曜日のできごとから

その子は自分の手にに
ぎっていたものを、あ
りったけの力を出して
道路にたたきつけまし
た。それから甘えるよ
うな顔でお母さんを見
上げました。お母さん
もまた、さつきと同じ
やさしい顔でその子を
見つめ返しました。
そして二人は何ごと
もなかったように、ゆ
つくりと楽しそうに行
ってしまつたのです。
思いっきり道路にた
たきつけられたもの。
それはガムを包んだ紙
だつたのです。
「なあんだ、そんなこ
とか。」と大人たちは思
うかも知れません。で
も私はとてもいやな気
分でした。そして残念
だなあと思いました。
私はしかたなくその
紙くずをひろい、アー
ケードの柱にくくりつ
けてあつたゴミ入れに
すてました。
よその人がすてたも
のを自分が始末したか
らいやだと思つたので
はありません。大勢の
人が見ている町の中で、
自分がゴミをひろわな

花と緑で潤いを

さわやか環境緑化まつり

花と緑の市が四月二十七日から四日間、市庁舎前お祭り広場で開かれ、色とりどりの草花や樹木が展示され、花と緑を求める市民で賑わいました。

開会式では、森田市長が「活力のある街を、花と緑でさらに潤いのある街にしましょう」とあいさつ、引き続き今年度の小中学校新入学児童、生徒を代表して



南小一年生の工藤哲也君ら四人に、市教育長(代理高橋栄教育次長)から紅梅の入学記念樹が贈られました。会場には鉢植えや苗木を売るテント小屋、ビニールハウスが立ち並び、サツキ、庭木や盆栽が市価より二、三割安とあって、テープカットと同時に入り口で待ちかねていた市民がどっと押しかけました。

環境緑化まつりは、北津軽森林組合などが主催し毎年行っているもので、期間中は、サツキ、ハマナスツタの苗木が無料で配布されたほか、庭園樹の整枝、剪定講習会、各種電話器の展示及び相談等にも人気が集まりました。



中国帰国者に自転車贈る

中央ロータリー

五所川原中央ロータリークラブ(三上久会長)は四月十九日、市内在住で中国帰国者の三世帯に「日常生活に役立ててください」と、自転車各一台ずつをプレゼントして喜ばれました。市長室前で行われた贈呈式には、山口翠さん(四二)ら帰国者五人と森田市長も出席、三上会長が「日常生活に使える物を」ということとで選びました」と述べました。

三世帯には自転車はありますが、相当古くなっているだけに新車のプレゼント

に大喜びで、「大変うれいんです。大切に使用します」とお礼を述べました。

国税専門官採用試験のお知らせ

昭和五十九年度国税専門官採用試験(大学卒程度)

▽受験資格 昭和三十二年四月二日から昭和三十八年四月一日までに生れた方

▽受験申込み 五月十六日(水)から五月二十三日(水)まで

▽申込み先 仙台国税局人事第二課へ。なお、申込み用紙は人事院のほか、各税務署にあります。

▽第一次試験 七月七日(土・八日(日))の二日間

▽試験科目 一般教養、専門試験。

▽試験地 仙台市・秋田市。

▽第二次試験 九月十三日(木)・十四日(金)面接、身体検査。

▽合格発表 十一月一日(木)。

なお、試験に合格しますと税務職員として採用され、税務大学校で約三ヶ月間の研修を受け、その後国税の仕事に従事することになります。

ければならなかったから残念だったというのでもありません。

私がいやだと思ったのは、あの子どものお母さんの態度なのです。自分の子どもが道の真ん中に、あの紙くずを思いっきり捨てた時、何でお母さんは、きびしく子どもを叱らなかつたのでしょうか。

「道路を捨てるもんでねよ。道路はみんな使るところだべ。みんなで気をつけねばまいねんだよ。」と、何で一こと言ってあげられなかつたのでしよう。子どもがゴミを捨てる前のお母さんの顔も、捨てた後のお母さんの顔も、どちらも同じようにやさしかったというのが、私には残念だったので、

「自分の子どもが何か悪い事をした時、黙って見ているような親はダメなんだよ。」と、私の母はいつも言います。ですから私も

いつの間にかそう考えるようになってきました。それで、あのガムの紙を捨てた母子のことも、子どもよりもお母さんの方を考えてしまったのです。

五所川原市はいま文化都市に変わってきています。町にはきれいな住宅が立ち並び、たくさん公共施設がつけられ、下水道工事などもどんどん進められています。でも目にみえる部分ばかり文化的でりっぱでも、そこに住んでいる私達一人一人の、目に見えない心の中の部分がきちんとしていないと、五所川原市をほんとうの文化都市にすることはできないと思います。親は自分の子どもにきびしくしつながら、子どもと心を合わせて、この五所川原を美しい町にかえていかなければならないと思うのです。

五所川原小学校五年 工藤千佳



早朝ジョギングで 走り初め



市民の早朝マラソンコースとして親しまれているトリム・ジョギングコースが今年も開設され、その走り初め会が四月二十九日早朝、八百人の老若男女が参加して盛大に行われました。

午前六時からの開会式に続いて、全員で準備体操をしたあと、一斉にスタートしました。

消防庁舎前広場から堤防を通って元町浄水場近くの折り返し点までの往復三キロメートルを、早朝のすがすがしい空気を胸いっぱい吸って、みんな元気に走り抜きました。

五所川原生活学校 チャリテイバザール開催

▽期日 六月十二日(火)
▽時間 午前十時～午後四時
▽場所 北地方教育会館

「物を大切にする運動」
家庭に眠っている不用品を有効に活用し、生活の無駄をなくするためのチャリテイバザールを開催します。

つきましては、自分では必要でもない人が喜んで使用できる物などがありましたらご寄付をお願いいたします。

なお、益金は社会福祉事業に寄付させていただきます。

▽受付日時 六月八日(金) 十日(日) 午前十時～午後三時
▽受付場所 中央公民館 後援 市教育委員会 市商工観光課

古文書解読講習会を開催

古文書解読講習会をつぎのとおり開催致します。ふるってご参加下さい。

▽主催 北奥文化研究会
▽日時 五月十九日(土) 午後二時から四時まで
▽場所 市歴史民俗資料館

古文書解読講習会をつぎのとおり開催致します。ふるってご参加下さい。

▽募集人員 三十名
▽会費 テキスト代 千円
▽講師 豊島勝蔵、小山英治

▽申込み先 北奥文化研究会事務局 太田(☎三五四〇六)まで
▽申込先 市歴史民俗資料館(☎三五四〇六)まで

五所川原地区防犯協会

五所川原地区防犯協会では四月二十五日、市庁舎前で、五所川原市、鶴田町の防犯指導隊員や同婦人部の人たち約百五十人が集まり、指導隊員の査閲式のあと市中心街をパレードしました。

「みなさんの頼もしい姿に地域住民も期待しています。地域ぐるみの運動へ発展させよう」とあいさつを述べました。

パレードでは、少年非行防止、戸締まり、地区全体の防犯意識の高揚を訴えました。

目抜き通りパレード

市民の意識高揚を

査閲式には、地代所五所川原警察署長、森田市長、中野鶴田町長らも出席して

▽試験申請書受付 六月五日(火)～六日(水)の二日間
▽試験日 六月二十八日(木)

▽試験会場 青森市、八戸市、弘前市

▽受験資格

○労働衛生管理の実務経験を有する左記のいずれかの者。

ア 中学校卒業業者は十年以上
イ 高等学校卒業業者は三年以上
ウ 大学又は高等専門学校卒業業者は一年以上

◎移動式クレーン運転士

国家試験のお知らせ

衛生管理者 準備講習会

国家試験に伴う

○衛生管理者準備講習会
▽期日 六月四日(月)～七日(木)の四日間
▽会場 西北労働基準協会
▽受講料及びテキスト代 (受講料八千円、テキスト代四千三百円)

○満十八歳以上の男子
※実技試験は八月中に別途計画実施されます。

◎移動式クレーン運転士試験準備講習会(学科)
▽期日 六月十九日(火)～二十一日(木)の三日間
▽会場 西北労働基準協会
▽受講料及びテキスト代 (受講料六千円)、テキスト代二千九百円)

※詳しいことは、五所川原市新宮町八四の五(社団法人)西北労働基準協会(☎三五五三三六)へどうぞ。



農作業の遅れ心配

県農林部 育苗状況を視察

育苗の状況視察のため、中村県農林部長ら一行は四月二十七日、雪の消え遅れで育苗への影響が深刻化している五所川原市をおとすれました。



森田市長の迎えを受け一行は、長橋育苗利用組合(組合長石岡武己 組合員五九九人)を訪れ、北農林事務所、農業改良普及所から管内の概要などの説明を受けたあと、石岡武己組合長の案内で育苗ハウスの中に入りました。

このところの好天も手伝い、約二センチに育ち、みずみずしい緑一色を見て、健苗作りがスムーズに行われているという説明に、中村部長と同席した森田市長もホッとされた様子でした。「不順天候克服には健苗作りが最大の関門、今後も頑張ってください」と組合員を励ました。



朝野球選手が 愛の献血奉仕

五所川原市朝野球は四月二十九日(日)午前六時から、市営球場で六十一チームが参加し、森田市長を迎えて開会式が行われました。式に参加した選手たちは、朝野球で鍛えた体を社会に役立てようとして、愛の献血に協力しました。

この日は、県赤十字血液センターから派遣された二台の採血車に、色とりどりのユニホーム姿の選手たち百人が愛の献血をしました。同センター職員らは「血液不足が深刻になっており、たくさんの方の献血に大変助かります」と感謝していただきました。

消費生活大学講座

受講生募集

昭和五十九年度消費生活大学講座を開講しています。受講希望者は左記へお問い合わせ下さい。

- △青森市本町二丁目一十六
- △青森県消費生活センター(☎〇一七七一三二二七六三・三三四三番)へ。

保母試験と受験 講習会お知らせ

- 一、保母試験
- ▽試験期日 七月二十五日(水)から二十八日(金)までの三日間
- ▽試験場所 県立青森中央高校
- ▽願書受付期間 五月二十八日(月)から六月八日(金)午後五時まで
- ▽願書提出先 青森県生活福祉部児童家庭課保育班

長期

天気予報

※五月は、月半ばを中心にあたたかな晴れの日が多い見込みです。しかし、下旬には天気のごくつく期間があるでしょう。月平均の気温はやや高く、降水量はやや少ない見込みです。

※六月は、前半は晴れの日が多いでしょう。しかし後半は肌寒い曇りや雨の日が多いでしょう。月平均の気温はやや低く、降水量は平年並の見込みです。

※七月は、引き続き肌寒く曇りや雨の日が多い見込みで、局地的な大雨の降るおそれがあります。月平均の気温はやや低く、降水量はやや多い見込みです。

○青森県の平年のつゆ入りは六月十五日、つゆ明けは七月二十六日です。

(青森地方気象台)

俳句

(五所川原俳句会提供)

- 夕ざくら透くまで磨ぎし明日の米 成田 市子
- 春らしき音色の土鈴一つ買う 対馬 暉子
- 春愁や遠き尾根より薄日さす 齊藤 さだ
- もの芽や寄れば開いて自動ドア 前田せい女
- 川沿いの道はまぶしき猫柳 齊藤今日子

県立郷土館 行事ご案内

入館料

県内小・中学校の団体観覧は無料
大人 200円(100円) 高大学生 100円(50円) 小中学生40円(20円)
()内は団体料金(20名以上)

開館時間

4月～9月 午前9:30～午後4:30

休館日

毎週月曜日 館内整理日(月末)年末年始(12月28日～1月4日)国民の祝日*ただし4月29日(天皇誕生日)5月3日(憲法記念日)5月5日(子供の日)9月15日(敬老の日)9月23日(秋分の日)10月10日(体育の日)11月3日(文化の日)は開館します。

お問い合わせは

〒030 青森市本町2丁目8の14 TEL0177(77)1585

行事案内(4月～9月)

名称	期日	料金
「大チベット展」 主催 青森県文化振興会議 毎日新聞社 毎日コミュニケーションズ	4月25日 ～5月20日	一般 700円 高・大 500円 小・中 300円
特別展「青森県の板碑展」	7月11日～ ～7月29日	平常料金 200円 一般 100円 小・中 40円
「青森県の板碑展」講演会	7月22日	無料
「縄文時代の土器づくり」	7月下旬 8月上旬	〃
「郷土の学習相談室」	7月20日 ～8月23日	〃
特別展「青森県の昆虫展」 —そのすみ家—	8月8日 ～8月26日	平常料金
「きのこ」展示会	9月下旬	無料
特別展「養虫山人展」	9月6日 ～9月28日	平常料金

(10月以降の行事については、次回号でお知らせします。)

出稼ぎから帰って来た方へ

国民年金の加入手続きは早目に

今ではほとんどの人が出稼ぎ先で厚生年金に加入しています。出稼ぎ先から帰ってきたときは、厚生年金の加入、脱退を証明する書類を持参のうえ、早急に市役所市民課、又は各支所が必要な手続きをしてください。

糖尿病教室のお知らせ

今年度も糖尿病をテーマにした教室を開きます。

▽実施場所 保健センター(新町) 料金は無料です。

▽実施時間 午前九時三十分～午後一時

▽内容 寝具交換の仕方、身体を拭く方法、看護用品の作り方、その他

主催 日本看護協会青森県支部北五地区支部

仲間づくりと正しい食生活がされているか、みんので調理実習をしながら学習してみませんか。

■看護教室■ あなたができる 家庭看護

行政連絡員決まる
△大谷太智雄(八重菊)

計量器検査手数料訂正について

本誌五月一日号で、今年度の計量器(はかり)の検査手数料は、昨年度同様とお知らせしましたが、計量法の改正に伴い昭和五十九年五月二十一日から二割程度値上りすることになりましたので、お詫びして訂正いたします。

歯の健康診断室

期日	6月3日(日)
時間	午前10時～午後4時
場所	中三デパート 5階催事場

主催 青森県歯科医師会北五支部会
後援 青森県衛生士会

五所川原青年会議所認承二十周年 記念講演会

〇とき 昭和五十九年五月二十六日(土) 午後六時開場

〇ところ 五所川原市民文化会館大ホール

〇演題 「二十一世紀のまちづくり」

〇講師 萩原茂裕先生
(ふるさとづくりプランナー)

〇入場 無料

主催 五所川原青年会議所

広報紙の早期配布にご協力下さい